

令和5年10月1日から令和6年3月31日までの業務状況及び経理状況について

1. 高山市下水道事業の概要

(1) 総括事項

令和5年度下期における高山市下水道事業の業務状況は、接続件数は29,202件で、前年同期比166件の増、処理水量は6,097,067 m³で、前年同期比545,213 m³(9.8%)の増、有収水量は4,766,816 m³で、前年同期比87,058 m³(1.9%)の増となりました。

経理状況については、営業収益は756,369,225円で前年同期比19,236,058円(2.6%)の増、営業外収益は782,916,234円で前年同期比54,118,285円(7.4%)の増となりました。事業費用は1,834,614,818円で、前年同期比92,929,407円(4.8%)の減となりました。当年度下期の収支は295,329,359円の純損失となり、上期の純利益295,329,359円を合わせると、当年度純利益としては0円となりました。

以上が令和5年度下期の業務状況、経理状況の概要です。数年続いたコロナ禍による下水道使用料収入減少からの回復が見られるものの、今後の人口減少等に伴うサービス需要の減少や、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、下水道事業を取り巻く経営環境は厳しくなることが予想されます。下水道ビジョン・経営戦略に基づき、処理区再編を始めとする経営の効率化や健全化に取り組むとともに、処理施設の長寿命化等を計画的に実施し、汚水の適正処理による快適な生活環境と流域の良好な水質確保に努めてまいります。